

# 手術看護認定看護師

- 手術看護分野は、周術期の看護に特化しています。
- 対象者は、手術を受ける患者と家族です。
- 手術という侵襲的な治療の影響を最小限にするために、専門的知識や科学的根拠に基づいた看護を実践します。
- 自らの実践を通して教育・指導・相談の役割を遂行することを職務としています

## 【現在の活動】

### 院内

- 手術を受ける患者の術前面談・術後訪問を行い、周術期の合併症予防・術後疼痛管理を実施する
- 手術患者のROM測定結果を活用した安全な手術体位確保と後輩指導
- 手術や麻酔に関連した皮膚損傷予防への対策実施と後輩指導
- 周術期管理チームの運営(食道がん・胃がん手術患者)

### 院外

- 神奈川手術看護認定看護師会主催手術看護セミナーの企画・運営

# メンバー紹介

守屋優一

後輩を指導する際に、根拠に基づいた専門的な技術や知識を教える重要性に気がつきました。そこで、より専門的な知識や技術を身につけたいと考え、認定看護師を目指しました。

周術期看護における多職種連携やその強化について検討し、患者がより安全に手術を受けられるように支援していきたいと考えています。

井川拓

日々の業務に従事するなかで、手術室看護師として自分たちの実践している看護を究め、手術室全体で更なる専門性の確立を図りたいと考え、認定看護師を目指しました。手術決定から退院までを周術期と捉え、治療早期での手術看護介入(実践・指導・相談)を実現し、患者の安全・安楽向上に努めたいと考えています

小山内直子

手術を受ける患者さんは、術後の痛みを不安に感じています。術中から術後まで継続した疼痛管理が行われるように活動しています。周術期に関わる医療従事者が術後疼痛管理を行えるように認定看護師の役割(実践・指導・相談)を遂行します。